

# 美しい景観守って活用

伊勢市横輪町の住民で作る「横輪町活性化委員会」が、農山・漁村の美しい景観を守っている団体を表彰する10年度の「美の里づくりコンクール」で、農水省農村振興局長賞を受賞した。地域の自然を生かした、催しを企画するなどして、地域経済の活性化だけでなく、耕作放棄地の減少や農家の保全、高齢者の生きがいづくりにつながったことなどが評価された。同賞の受賞は県内で初めてで、伊勢市役所で25日、表彰式が行われた。

横輪町は伊勢市南部の中山間地域に位置し、人口は97人で、うち4割が65歳以上の高齢者が占めている。過疎化や高齢化が進む一方で06年6月、「地元を良くしたい」と若い世代を中心に「横輪町活性化委員会」が結成され、町民全員が委員となって、町の活性化に乗り出した。

同町だけに咲く珍しい桜

## 美の里づくりコン 農水省局長賞受賞

「横輪桜」や粘りの強い山芋「横輪芋」、防風のための石垣などの資源を生かし、桜の植樹会や芋の特産品の開発、石垣巡りの地区の作製やガイドツアーなどに成功した。また、売店「郷の恵 風輪」を開き、地場産の野菜や手芸品などを販



受賞した横輪町活性化委員会のメンバー(中央)と南海農政局農村計画部・高橋部長(左端)、鈴木市長(右端)

## 伊勢・横輪町活性化委 県内初、過疎・高齢化対策に評価

売している。町の来訪者数は06年は2万7000人だったが、地域資源を活用した催しなどの影響で、10年度は7万人に急伸した。

同コンクールは、行政やNPO、都市圏の住民らと連携し、豊かな農地・水・里山などを生かして地域の美しい景観、良好な景観を守り育てている活動地区を表彰する。10年度は全国から38団体の応募があった。表彰式は3月18日に農水省で開かれる予定だったが、東日本大震災の影響で延期されていた。

この日、同委の岡惣松会長(67)ら6人が伊勢市役所を訪れ、東海農政局農村計画部の高橋幸輝部長から賞状を受け取り、鈴木健一市長に報告した。岡会長は「感謝無量。皆さんに助けてもらったから受賞することができた。近隣の協力を得ながら、これからも充実した町を作り続けていく」と話していた。

【木村文彦】